

スカットボール

岩手県立県北青少年の家

〈ゲームのすすめ方〉

- マットを敷いて、その端にスカット台を乗せて高さを調節する。
- 個人戦または団体戦で行うか決める。
 - * 個人戦の場合、何回戦で行うか決める。
 - * 団体戦の場合、人数をそろえる。
- ジャンケンで先攻・後攻を決める。
 - * 先攻は赤球・後攻は白球
- スタートラインから、1人5個の持ち球を赤・白交互に打つ。
 - * 入ったボールはとらないで続ける。
- 5個の持ち球全部が得点穴に入った場合、「パーフェクトチャンス」として、さらに球5個打つことができ、得点に加算される。
 - * 得点穴に入っている球をすべてとってから打つ。
- 最後の合計得点を計算し、多いチームが勝ちとなります。
- 同点の場合は、個人戦は延長戦、団体戦は代表1名による決定戦を行う。



概要	マット（人工芝）にスカット台（得点台）をのせて、スタートラインからステックで紅白のボールを交互に打って、スカット台の得点穴にボールを入れて得点を競うゲーム。 個人戦でも団体戦でも楽しめる。
場所	プレイホール、ふれあいホール等
所要時間	設定なし。
準備	スカット台、マット（人工芝）、ステック、ボール（赤白5個ずつ）、スコアカード、筆記用具
活動内容	<p>① 準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 用具を運び、マットの上にスカット台をセットする。 ○ 対戦方法（個人戦または団体戦）を決めて、団体戦の場合は、チームわけをする。 <p>② 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ゲームのすすめ方について説明する。 ○ 用具の扱い方や安全について注意する。 <p>③ 対戦（団体戦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 代表者のジャンケンで先攻・後攻を決める。 ☆ 1人ずつ5個の持ち球を赤・白交互に打つ。 ☆ 球5個全部穴に入ったプレイヤーは、さらに5個打ち、得点に加える。 [パーフェクトチャンス] ☆ 全員の対戦が終わった時点で得点の多いほうが勝ちとなる。 ☆ 同点の場合は、代表者による決定戦を行い、勝敗を決める。 <p>④ 結果の発表</p> <p>⑤ 後始末</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 用具が入っていた箱に、ボールとステックの数を確かめて入れる。 ◎ 元の場所に戻す。
安全上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ステックを使うは、周りに人がいないか確かめてからふること。 ・人に向けてボールを打ったり投げたりしないこと。 ・マットの上を走らないこと。

※用具の取り扱いと事故防止には十分注意すること。